



2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

上場会社名 株式会社ライフコーポレーション
 コード番号 8194 URL <http://www.lifecorp.jp/>

2021年10月7日
 上場取引所 東



代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 岩崎 高治
 問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 宮田 幸一 TEL 03-5807-5111

四半期報告書提出予定日 2021年10月15日 配当支払開始予定日 2021年11月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	387,093	0.1	15,251	△9.8	15,603	△10.0	10,782	△7.9
2021年2月期第2四半期	386,738	9.4	16,914	204.0	17,335	190.4	11,705	205.3

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 10,631百万円 (△7.8%) 2021年2月期第2四半期 11,530百万円 (212.4%)
 (参考) 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。
 売上高 2022年2月期第2四半期 375,382百万円 (0.0%) 2021年2月期第2四半期 375,213百万円 (9.5%)
 営業収入 2022年2月期第2四半期 11,710百万円 (1.6%) 2021年2月期第2四半期 11,524百万円 (7.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	230.06	—
2021年2月期第2四半期	249.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第2四半期	260,448	107,017	41.1	2,283.41
2021年2月期	268,307	97,560	36.4	2,081.61

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 107,017百万円 2021年2月期 97,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2022年2月期	—	30.00	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	—	—	40.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
 配当予想につきましては、本日（2021年10月7日）公表いたしました「剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正（増配、記念配当）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	760,000	0.1	19,000	△30.6	20,000	△29.0	12,500	△29.9	266.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期2Q	49,450,800株	2021年2月期	53,450,800株
② 期末自己株式数	2022年2月期2Q	2,583,210株	2021年2月期	6,583,138株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期2Q	46,867,612株	2021年2月期2Q	46,868,237株

(注) 期末自己株式数には、「取締役向け株式交付信託」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式（2022年2月期2Q 90,300株、2021年2月期 90,300株）が含まれています。
また、株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。（2022年2月期2Q 90,300株、2021年2月期2Q 90,300株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善、企業収益の持ち直し等一部に回復傾向がみられるものの変異株による新型コロナウイルス感染症の急速な再拡大の影響により、先行き不透明な状況にあります。

そのような経済環境の中、当社グループの事業領域である食品スーパー業界におきましては、新型コロナウイルス感染症によってもたらされた内食需要の高まりが継続するとともに無観客開催となった東京オリンピック・パラリンピックの在宅観戦による需要拡大も加わり、底堅く推移しています。ただし、個人所得、消費マインドの低下等が続いており、今後、食品スーパー業界は、これらの影響を受けることは避けられないと考えています。

ウィズコロナの環境下、当社グループは地域住民のライフラインとしての使命を果たすべく、お客様・従業員の安全・安心を最優先に、チラシ折込みの自粛及びチラシ再開後も密を避ける施策をはじめ、様々な対策を講じております。また、外出自粛に伴う観光客の減少等の影響を受けた生産者様、外食産業様、メーカー様への協力の観点から、産地応援セール等を継続的に実施いたしました。

当第2四半期連結累計期間のその他の主な取組みとして、各種民間調査等で高評価をいただいておりますネットスーパー事業におきまして、システム面での更なる利便性向上のために株式会社10Xと協業し、初のモバイルアプリ版となる「ライフネットスーパーアプリ」の提供を3月より開始いたしました。配送面ではネットスーパー・来店宅配サービスにおける安定した高い品質の配送網を構築するために、間口ホールディングス株式会社と共同でラストワンマイルを担う新会社「株式会社ライフホームデリバリー」を4月に設立し、6月より事業を開始いたしました。

また、当社が2019年9月より出店を始めたAmazonプライム会員向けサービスについては、配送地域を首都圏では、東京23区と都下4市、神奈川県6市、千葉県13市、埼玉県1市、近畿圏では、大阪市23区と府下19市、兵庫県1市、京都府3市（それぞれ一部地域を除く）に拡大しております。

新規店舗としては、3月に東日暮里店（東京都）、4月に溝口店（神奈川県）の2店舗を出店する一方、8月に1店舗閉鎖いたしました。また、7月に当社が出店している大型複合施設グランシップ（神奈川県）にナチュラルスーパーマーケット“ビオラル”のショップを併設いたしました。既存店舗の改装としては、神田和泉町店、葛飾鎌倉店、鶴見店、東尾久店、相模原モール店、菱江店の6店舗でお客様のニーズの変化に対応した改装を行いました。

当社グループの業績におきましては、新規店舗、ネットスーパーなどのeコマース（EC、電子商取引）の拡大、BIO-RAL（ビオラル、有機・ナチュラル系商品）等のプライベートブランド商品の強化、おいしさを追求した商品施策等の効果が寄与し計画通りに推移しております。営業収益は、3,870億93百万円（前年同四半期比0.1%増）となるとともに、荒利率の改善により売上総利益は増益となりました。一方、販管費は、採用強化等に伴う人件費の増加に加え、新規出店に伴う賃借料、チラシ再開に伴う販促費、伸長しているEC強化等の物件費も増加したことから、営業利益は152億51百万円（前年同四半期比9.8%減）、経常利益は156億3百万円（前年同四半期比10.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は107億82百万円（前年同四半期比7.9%減）と、何れも前年同四半期を下回る結果となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

(小売事業)

営業収益は3,866億30百万円（前年同四半期比0.1%増）、売上高は3,753億82百万円（前年同四半期比0.05%増）、セグメント利益は155億58百万円（前年同四半期比9.8%減）となりました。

なお、部門別売上高は、生鮮食品部門が1,620億2百万円（前年同四半期比1.8%増）、一般食品部門1,645億61百万円（前年同四半期比0.5%減）、生活関連用品部門323億52百万円（前年同四半期比5.7%減）、衣料品部門115億53百万円（前年同四半期比0.1%増）、テナント部門49億12百万円（前年同四半期比1.0%増）となりました。

(その他)

株式会社ライフフィナンシャルサービスの営業収益は11億83百万円（前年同四半期比2.4%増）、セグメント利益は44百万円（前年同四半期比51.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、2,604億48百万円と前連結会計年度末に比べ78億58百万円減少いたしました。

流動資産は、682億75百万円と前連結会計年度末に比べ63億92百万円減少いたしました。これは主として現金及び預金が63億34百万円、未収入金（流動資産その他）が46億41百万円、それぞれ減少した一方、売掛金が33億35百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、1,921億72百万円と前連結会計年度末に比べ14億66百万円減少いたしました。これは主として減価償却後の建物及び構築物が12億13百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、1,534億30百万円と前連結会計年度末に比べ173億16百万円減少いたしました。これは主として短期借入金が202億50百万円増加した一方、買掛金が217億60百万円、未払金（流動負債その他）が114億46百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、1,070億17百万円と前連結会計年度末に比べ94億57百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金が96億8百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、86億8百万円（前年同四半期比47.0%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は、102億52百万円（前年同四半期は20億53百万円の資金の増加）となりました。これは主として前連結会計年度末日が金融機関の休日にて支払が保留になったこと等による仕入債務の減少が217億60百万円、未払金が57億94百万円減少し、非資金性損益項目である減価償却費が69億65百万円、税金等調整前四半期純利益が157億35百万円あったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、112億11百万円（前年同四半期比11.1%減）となりました。これは主として2店舗の新設、既存店舗の改装など、有形固定資産の取得による支出が108億54百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果得られた資金は、151億29百万円（前年同四半期比8.1%増）となりました。これは主として短期借入金の純増加額及び長期借入れによる収入の合計が232億50百万円あった一方、長期借入金の返済による支出が62億32百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の連結業績予想につきましては、2021年4月9日の「2021年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想からの変更はありません。

本年度後半以降の業績見通しにつきましては、ウィズコロナ、アフターコロナの不透明な事業環境に対応すべく、既存店の改装強化など当初計画を大きく上回る規模の投資を実施するため、投資の増加による一時的なコスト負担増など、当社が現時点で想定し得る要素を可能な限り織り込んで作成しております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の今後の当社グループの事業へ与える影響については依然合理的に見通すことが困難な状況にあり、今後の景気・個人消費動向を注視し、連結業績予想の見直しが必要となった場合には、速やかに開示することといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,343	9,008
売掛金	5,524	8,859
商品及び製品	23,193	23,509
原材料及び貯蔵品	189	172
その他	30,417	26,725
流動資産合計	74,668	68,275
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	87,489	86,275
土地	38,774	39,383
その他(純額)	21,188	21,534
有形固定資産合計	147,452	147,193
無形固定資産	3,635	3,525
投資その他の資産		
差入保証金	23,321	23,515
その他	19,272	17,980
貸倒引当金	△41	△41
投資その他の資産合計	42,551	41,453
固定資産合計	193,638	192,172
資産合計	268,307	260,448
負債の部		
流動負債		
買掛金	68,466	46,706
短期借入金	2,150	22,400
1年内返済予定の長期借入金	12,647	11,632
未払法人税等	6,126	5,404
賞与引当金	2,595	2,692
販売促進引当金	1,884	1,784
その他	36,595	24,762
流動負債合計	130,466	115,382
固定負債		
長期借入金	24,113	21,896
役員株式給付引当金	36	36
退職給付に係る負債	3,256	3,229
資産除去債務	5,409	5,449
その他	7,463	7,435
固定負債合計	40,280	38,047
負債合計	170,747	153,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,004	10,004
資本剰余金	11,613	5,628
利益剰余金	86,595	96,204
自己株式	△9,914	△3,929
株主資本合計	98,298	107,906
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	375	218
土地再評価差額金	△1,114	△1,114
退職給付に係る調整累計額	0	7
その他の包括利益累計額合計	△738	△888
純資産合計	97,560	107,017
負債純資産合計	268,307	260,448

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
売上高	375,213	375,382
売上原価	261,372	260,368
売上総利益	113,840	115,014
営業収入	11,524	11,710
営業総利益	125,365	126,725
販売費及び一般管理費	※1 108,451	※1 111,473
営業利益	16,914	15,251
営業外収益		
受取利息	78	72
受取配当金	32	32
リサイクル収入	121	131
データ提供料	74	78
その他	257	200
営業外収益合計	563	514
営業外費用		
支払利息	116	97
その他	26	65
営業外費用合計	142	162
経常利益	17,335	15,603
特別利益		
投資有価証券売却益	—	249
受取補償金	262	—
受取保険金	4	—
固定資産売却益	2	—
特別利益合計	269	249
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	※2 65	※2 60
固定資産除却損	80	32
店舗閉鎖損失	12	16
投資有価証券売却損	—	7
減損損失	193	—
転貸損失	134	—
特別損失合計	486	117
税金等調整前四半期純利益	17,118	15,735
法人税、住民税及び事業税	5,417	4,521
法人税等調整額	△5	431
法人税等合計	5,412	4,953
四半期純利益	11,705	10,782
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,705	10,782

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益	11,705	10,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△184	△157
退職給付に係る調整額	9	6
その他の包括利益合計	△175	△150
四半期包括利益	11,530	10,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,530	10,631

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	17,118	15,735
減価償却費	6,463	6,965
退職給付費用	13	9
減損損失	193	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	234	97
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	△52	△100
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	22	△26
受取利息及び受取配当金	△111	△104
支払利息	116	97
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△241
固定資産除却損	80	32
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,325	△3,335
たな卸資産の増減額 (△は増加)	842	△298
未収入金の増減額 (△は増加)	3,015	4,641
仕入債務の増減額 (△は減少)	△21,395	△21,760
未払金の増減額 (△は減少)	△2,788	△5,794
その他	2,352	△866
小計	4,779	△4,951
利息及び配当金の受取額	36	34
利息の支払額	△110	△92
法人税等の支払額	△2,649	△5,243
災害損失の支払額	△2	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,053	△10,252
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△400	△400
定期預金の払戻による収入	400	400
有形固定資産の取得による支出	△11,693	△10,854
有形固定資産の売却による収入	203	0
無形固定資産の取得による支出	△639	△650
投資有価証券の売却による収入	—	485
関係会社株式の取得による支出	—	△12
貸付金の回収による収入	—	22
差入保証金の差入による支出	△461	△210
差入保証金の回収による収入	46	16
その他	△61	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,606	△11,211
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	11,750	20,250
長期借入れによる収入	10,000	3,000
長期借入金の返済による支出	△6,150	△6,232
リース債務の返済による支出	△569	△615
割賦債務の返済による支出	△101	△102
配当金の支払額	△937	△1,171
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,990	15,129
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,437	△6,334
現金及び現金同等物の期首残高	12,813	14,943
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,250	8,608

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
給与手当及び賞与	40,318百万円	41,969百万円
賞与引当金繰入額	2,642	2,671
退職給付費用	780	766

※2 新型コロナウイルス感染症による損失

新型コロナウイルス感染症拡大により、店舗などにおいて発生した商品廃棄損、消毒費用や賃料減免によるテナント支援等を新型コロナウイルス感染症による損失として特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2020年3月1日 至 2020年8月31日）
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他（注）2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額（注）3
	小売事業				
営業収益（注）1					
外部顧客への営業収益	386,301	436	386,738	—	386,738
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	0	719	720	△720	—
計	386,302	1,156	387,458	△720	386,738
セグメント利益	17,244	91	17,335	—	17,335

(注) 1 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2 「その他」はクレジットカード事業等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2021年3月1日 至 2021年8月31日）
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他（注）2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額（注）3
	小売事業				
営業収益（注）1					
外部顧客への営業収益	386,628	464	387,093	—	387,093
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	1	719	720	△720	—
計	386,630	1,183	387,813	△720	387,093
セグメント利益	15,558	44	15,603	—	15,603

(注) 1 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2 「その他」はクレジットカード事業等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。